

# 悪夢の中炎

塗りつぶされて×年後の  
ファイアスラッガー





悪夢ノ中ノ炎



どーなってる  
だろうな  
今年の夏は…

いくらなんでも  
暑すぎるぜ  
アンタも  
そう思うだろ？



こんな暑い中  
頑張ってお仕事  
するのはよォ

はー  
つまんね



去年はもっと  
マシだった  
気がするし

おとしは  
もっと  
マシだった  
気がする



これからって時に  
邪魔が入るなんて  
ツイてないぜ…

まったく  
ヒーローってのは  
めんどくせー  
生き物だなア

窒息するまで  
情報を  
吐かなかつたり  
人の邪魔したり

消えたと思っても  
まだ居たりよお：  
最後のはお前の事だぜ  
ファイアスラッガー

貴様：  
俺の体で  
また何て事を…

スッ…

出てけよ！

暑苦しーやつが  
出てきて  
更に暑くなつちまう  
じゃねーか  
ひっこめよ…

何を…！

がしっ

ま、俺が  
こう言わずとも  
じきに自分から  
引っ込みたく  
なるだろうが…

貴様…  
何を  
言って…

くははっ  
ホントお前は  
めでてえ奴だよ

くっ…

呪いの絵具って  
暑いと溶けるの  
早ええとか  
あんのかな？

何せ  
今年の夏は  
特別暑いだろお？  
なあ？  
お前はと思う？

あ、そうだ  
お前はと思う？

ド  
ッ

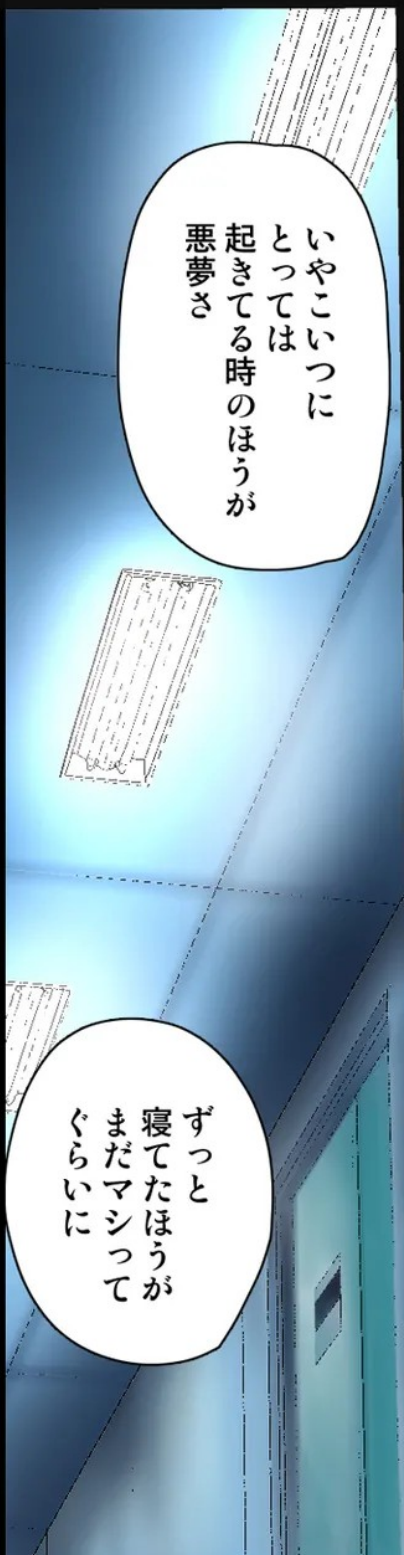
今年の…だと？  
お前だって  
記憶があいまいで…  
こうなってるから  
何年経ってるか  
わからねーくせに

ははは  
そりやそうだ  
お前が忘れんのを  
望んでんだからな



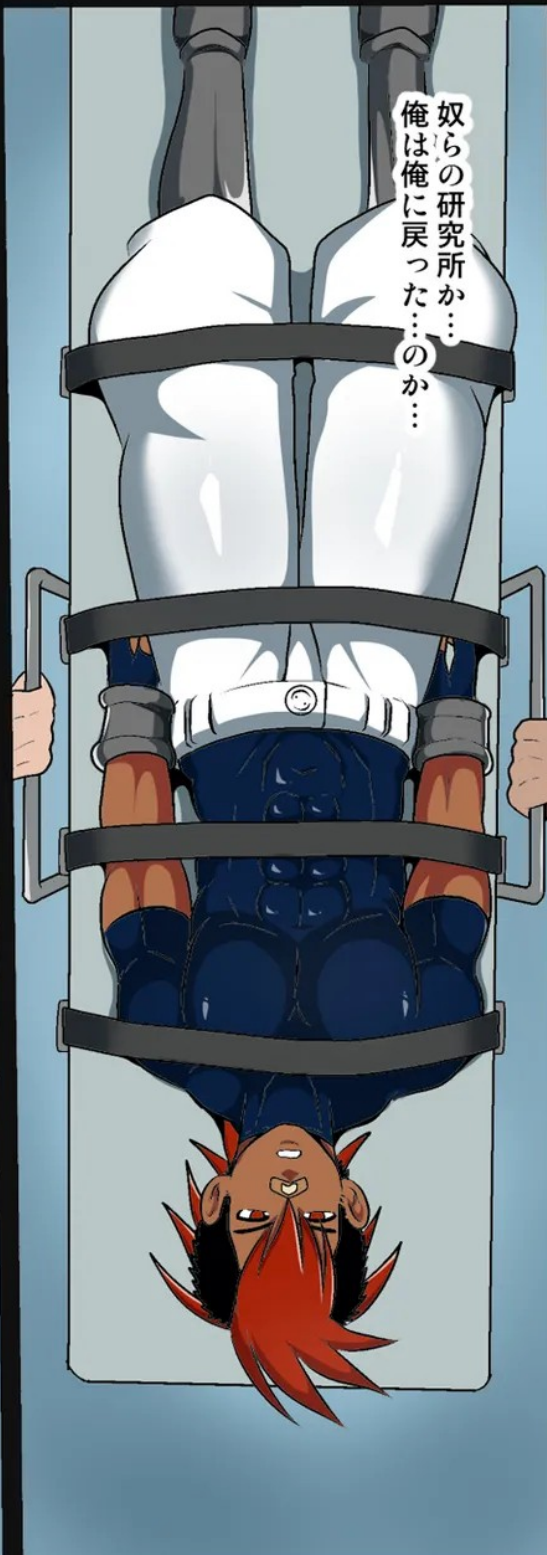
……が……と不安定になるなペインターに塗りなおし指示を

……うは……



いやこいつにとつては起きてる時のほうが悪夢さ

ずっと寝てたほうがまだマシってぐらいに



奴らの研究所か……俺は俺に戻った……のか……



鎮痛剤は十分打ったか？



そりや勿論象でもお昼寝しちやうぐらいたつぶり

まあこいつはいつもお昼寝しているようなもんだけどね



ああ！  
わたしの  
可愛い作品よ！

可愛想に…  
絵具が剥がれて  
しまったのかい…  
今整えてあげようね…



や、やめる…  
塗るんじゃない…

また俺が  
俺じゃなく…なる



君はいつも  
最初は  
そう言うんだ…

でも直に自分から  
おねだりを  
するようになる

バカ言え！  
そんなわけが…  
うっ…



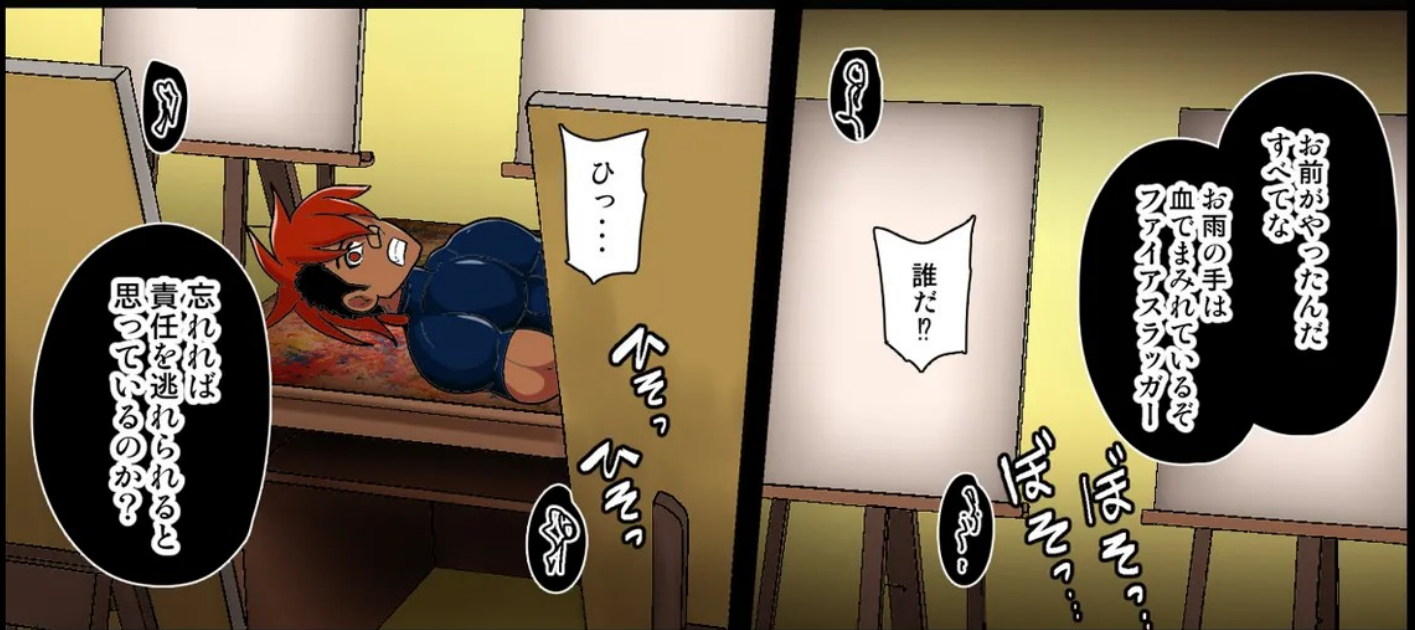
さっきまで  
何人自だ  
何人やつた？

絵具で  
塗りつぶして  
貰っても  
いつか剥がれるぞ

う…？

ムムム…

ムムム…



お前がやつたんだ  
すてきな  
お雨の手は  
血でまみれてるぞ  
ファイアスライカー

誰だ？

ひっ…

忘れれば  
責任を逃れられると  
思っているのか？

ムムム…

ムムム…



許されない！

悪魔め

ムムム…

何を…  
俺は…何をした…

人殺し

ムムム…

ムムム…

記憶が…  
どんどん蘇っていく  
俺が…イビルファイアが  
やってきたことが…

あ

俺と戦うのと  
消火どっちに  
戦力を裂くか

あ

あんたを  
信じてたよ  
お疲れさん  
消防ヒーロー

違う…俺…

うああああああああ  
ああああああああ  
ああああああああ

ガッ

ガッ

許してくれ！  
俺…俺…

許して…  
ひっ…  
うあああああ！

おっと記憶が  
フラッシュバック  
したね  
静かなる青で  
落ち着かせて  
あげよう

ルンルンルン

あ

ルンルン

あ

あ



ルンルン♪  
ルンルン♪  
ルンルン♪

すみません  
俺が…

一瞬だけ見えた  
あれは俺が…  
イビルファエアが  
してきたこと…

俺の手で…

なんて…  
事を…



ずっと見ていたのが  
キャンパスが  
壊れてしまう前に  
塗りつぶして行こう



ああ…  
怒りや憎しみ  
と言った  
色の中に

隠れている苦悶…  
なんて美しい  
んだろう…



うああ…

あ…あ…

落ち着いてきたね  
わたしの絵具は  
安心するだろうか？

そう君はいつからか  
わたしの絵具無しじゃ  
自分の罪に  
耐えられなくなって  
しまったのだ

君の苦しみを  
覆い隠せるのは  
わたしだけだ…



でも俺は  
安心している

うあ...

お...



あふれた記憶が  
巻き戻してみたいに  
どこかへ戻っていき...

そして  
また俺が  
俺じゃなく  
なっていく...

お...



俺が...  
イビルファイアが  
してきた  
とんでもない事を  
思い出さずに済んだ...

あ

う

あ

思い出せないが...  
何かをしてきた事だけは  
確かに感じている...  
それがとてもなく  
恐ろしい...

その恐ろしさから  
今すぐ逃げたい...



マッドペインター...さま...  
俺を塗りつぶしてください...

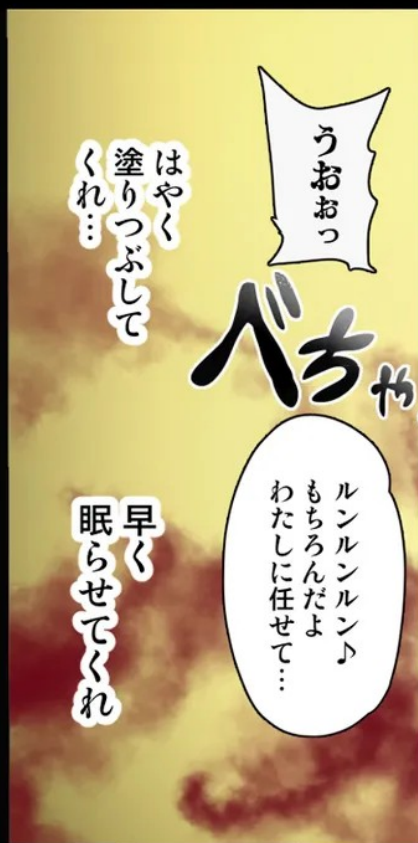
そうだ俺は  
自分から  
塗りつぶされるのを  
望んでいる...  
アイツや  
マッドペインターの  
言う通りだった

ははは



ほら  
いつも  
こうなんだ  
お前は

うっ



うおおっ

バチヤ

ルンルンルン♪  
もちろんだよ  
わたしに任せて…

はやく  
塗りつぶして  
くれ…

早く  
眠らせてくれ



ああ…  
そうらしいな…  
だがこの事すら  
もうすぐ忘れる

どうだ？  
俺が言ったことが  
正しかったら？

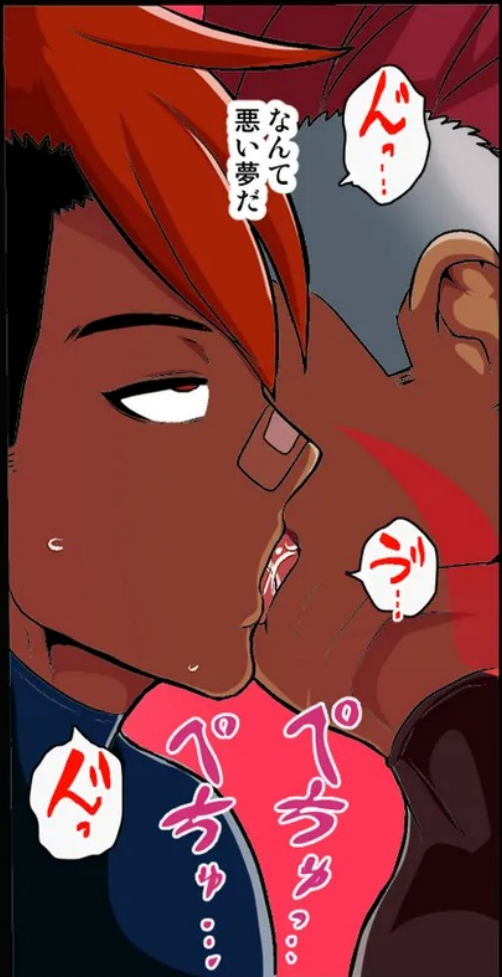
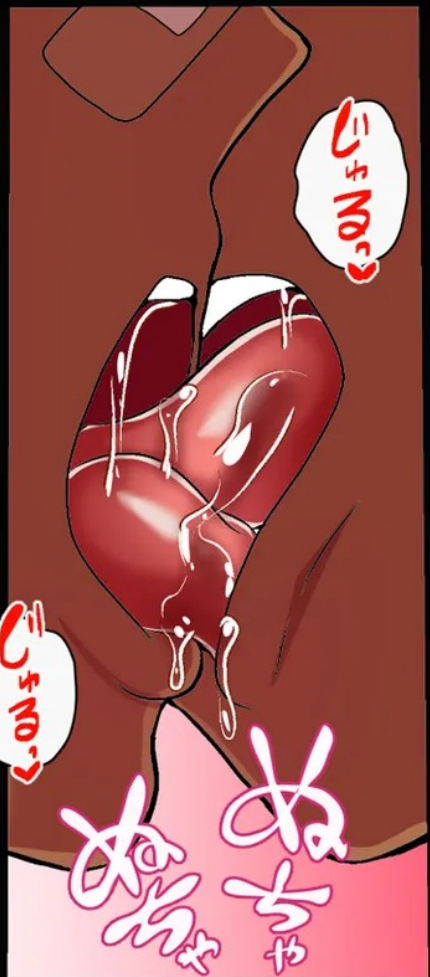
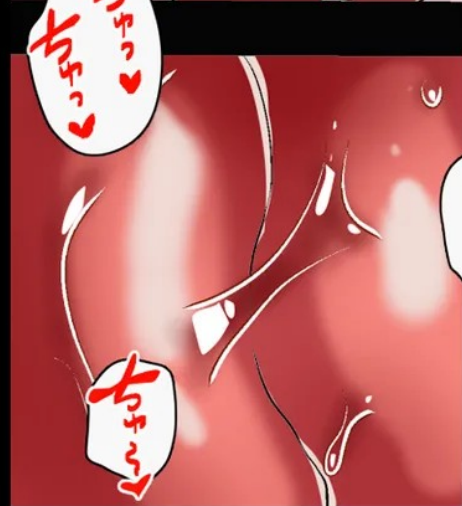
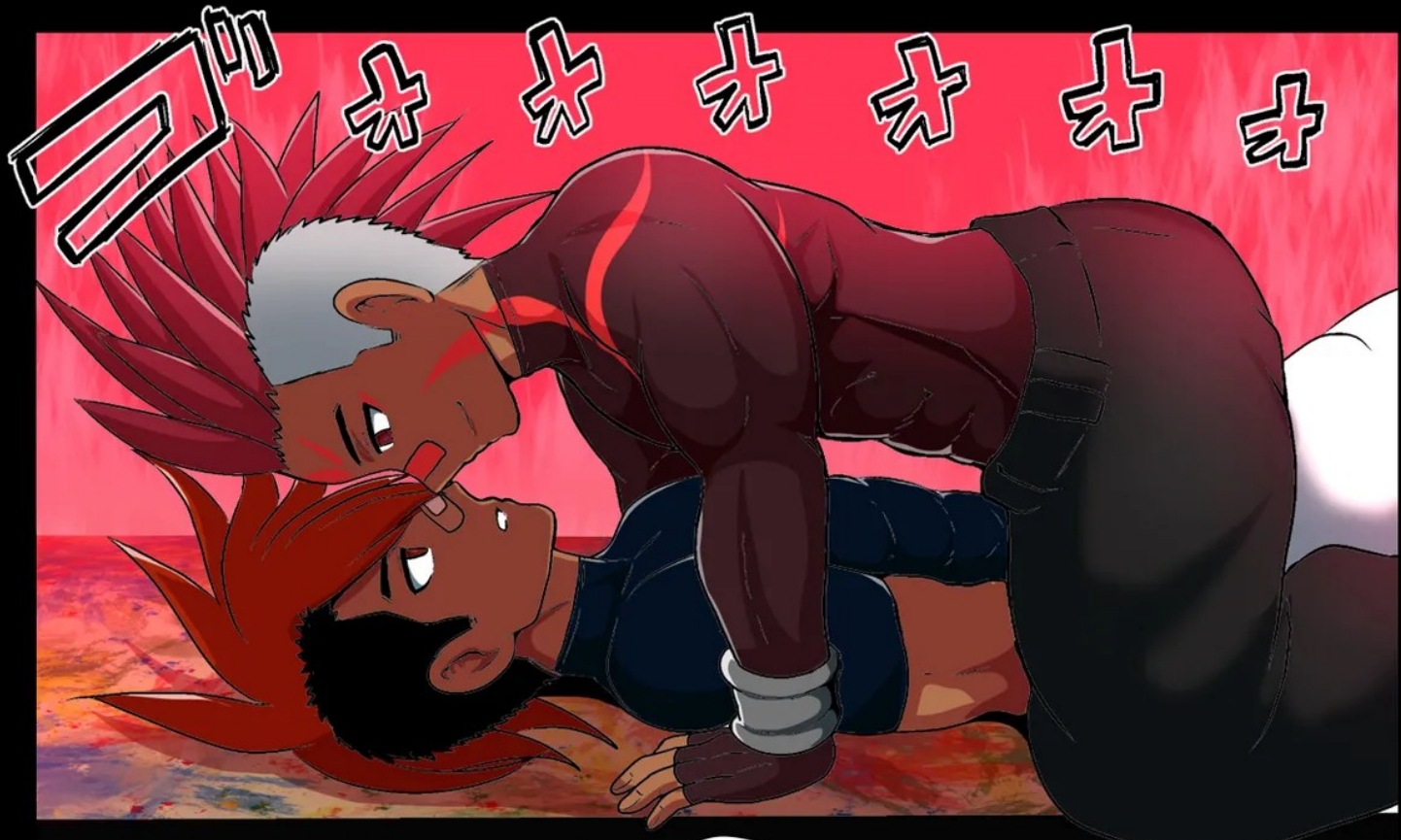


こんなことが  
できるのは  
この時だけだ



そんな顔すんなよ  
はがれかけて  
塗りなおされる  
この時も  
悪くは無いだぜ

ウハ…



いつもみてーに  
お前のトラウマを  
眺めながら  
取り込んでやんよ

炎の戦士  
ファイアスラッガー

何度もこれを  
しても興奮するのは  
罪の意識が  
薄れてない証拠だ

罪の意識の  
ドキドキが  
性的興奮に  
結びついた  
まっただのさ

罰のつもりが  
今じゃ  
ただのご褒美だ

見ろよ  
おまえの  
ヒーローコスが  
黒く染まっていくぜ

お前はまた俺に  
戻るんだ

早く…  
取り込んでくれ  
俺のことを…

俺をお前の中で  
眠らせてくれ…

くはは  
何て惨めな  
ヒーローだ

もはや  
抑止力にも  
なる気概も  
ねえとはなア

ぶるん♡  
ぶるん♡

だがそれは正解だぜ？  
お前はもう『ごっこ』に  
いるしかねえんだよ  
誰もお前の生還を  
望んじやいねえ

だが俺は  
お前のことを  
必要としている…  
大切にやる



あ...

そうだ  
お前の体は  
俺にとつて  
必要なんだ

沈んでいく...

あ

う

あ

お前の肉体は  
俺のもんだ  
永遠にな

なあ...  
俺だけの  
腰抜けビロ...

う...意識が...

ポアッ  
ポアッ

あ

眠れ  
ファイアスラッガー

あ

ポアッ

があ...



あきらめるな  
ファイアスラッガー...

あが...

あが...

信じていた、か  
奇遇だな  
自分もお前を  
信じているぞ

お前は…  
まだそこに  
いるとな…

やめろ

目を覆いたくなる  
記憶の中に…

塗りつぶしては  
いけない  
何か…

俺の声だけ  
聞け…

誰だ…  
誰の言葉だ…

やめろ

お前に必要なのは  
俺の声だけだ

俺はその人を  
知つていて…  
だが絵具に  
邪魔されて  
思い出せない…

俺は本当に  
このまま  
塗りつぶされても  
良いのか？

俺は…



俺はッ...

おおお

ドドド

お前は  
俺のもんだ！  
フアイアスラツカー！

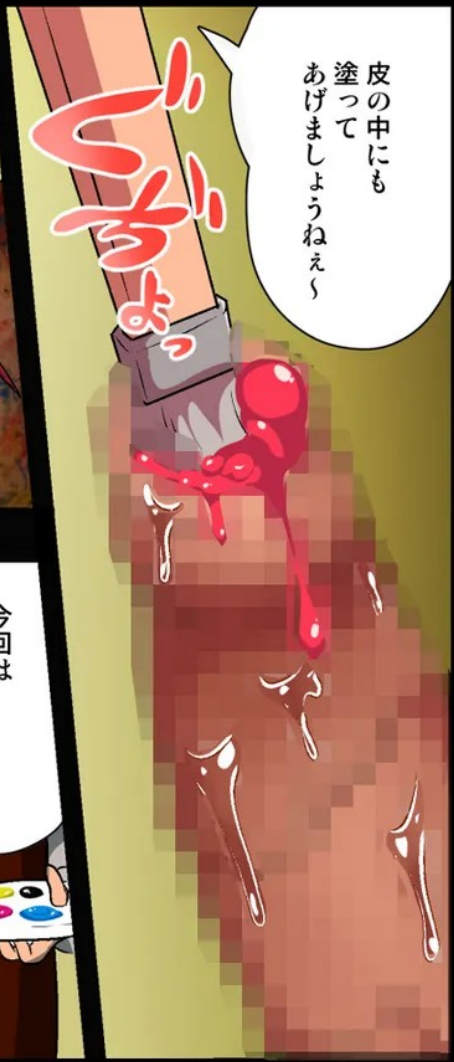


ルンルン♪  
ルンルン♪  
ルンルン♪



おっと  
目覚めたかい  
わたしの  
イビルファイア

くはは  
くすくすってえ



皮の中にも  
塗って  
あげましょうねえ

ぐいぐい  
よっ



今回は  
どんな夢を  
みてたんだい？

そりゃ最高に  
楽しい夢さ



だが少し  
厄介な事に  
なったかも  
しれねえ…

もう少し  
入念に  
塗っておくか…



蘇生完了！  
あとはチエさんたち  
医療機関に  
お任せします

ふざけんなよ  
あのレスキュー野郎！  
こいつは  
俺のもんだ！



絶対に  
救ってみせるぞ  
ファイアスラッガー！



シンくん：  
まだ諦めて  
ないのね

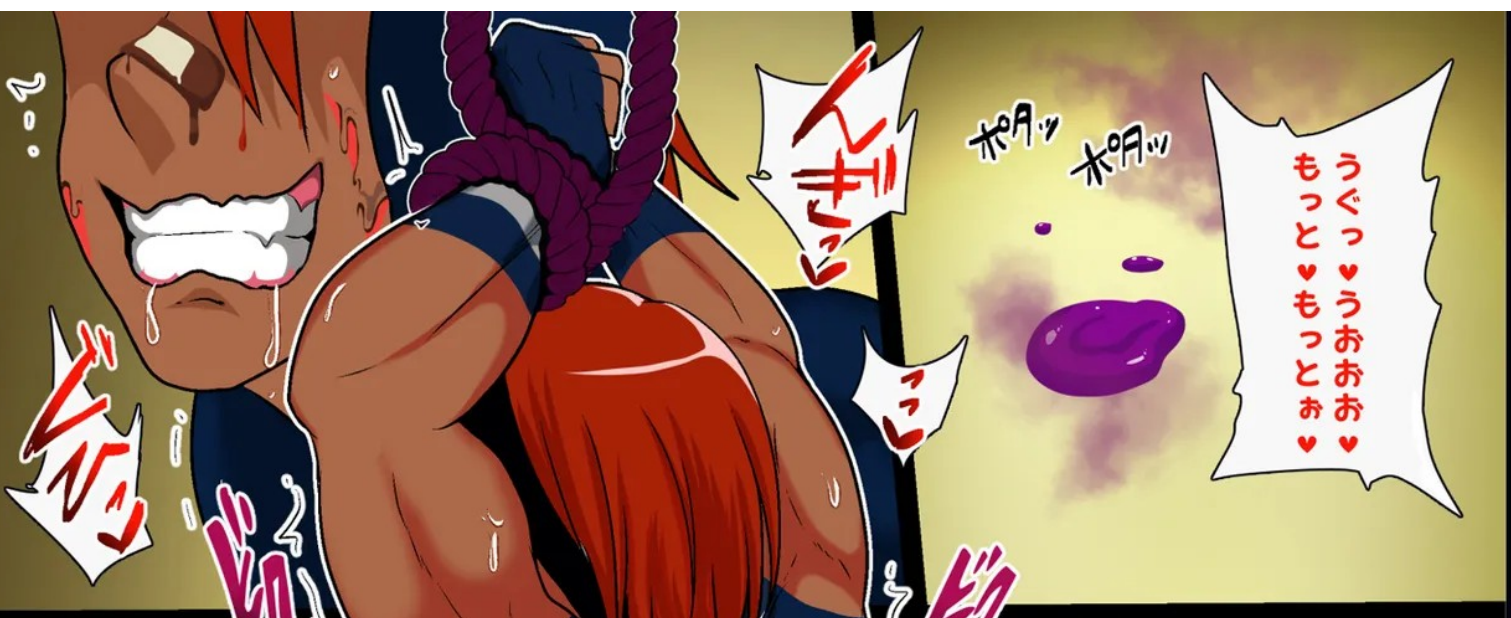
当然です  
あいつはまだ  
イビルファイアの  
中で生存してます  
自分が現着した時に  
不安定になったのが  
その証拠ですよ



それに自分は  
消防士ですからね  
助けを求めている人間は  
見捨てておけません



そうあいつは  
苦しんで  
助けを求めている



うぐっ♡うおおお♡  
もっ♡もっ♡お

クッ

クッ

ホッ

クッ

クッ



この肉体が！  
もう元の  
正義のヒーローに  
戻れないくらい

歪んだ快感を

肉体に  
染み込ませて

もっ♡深くっ♡  
んおおおお♡

クッ

クッ

クッ



苦痛の色で  
性的興奮を  
催すなんて  
君はホントに  
興味深い作品だね

刻み付けて

お前を  
徹底的に  
穢してやる

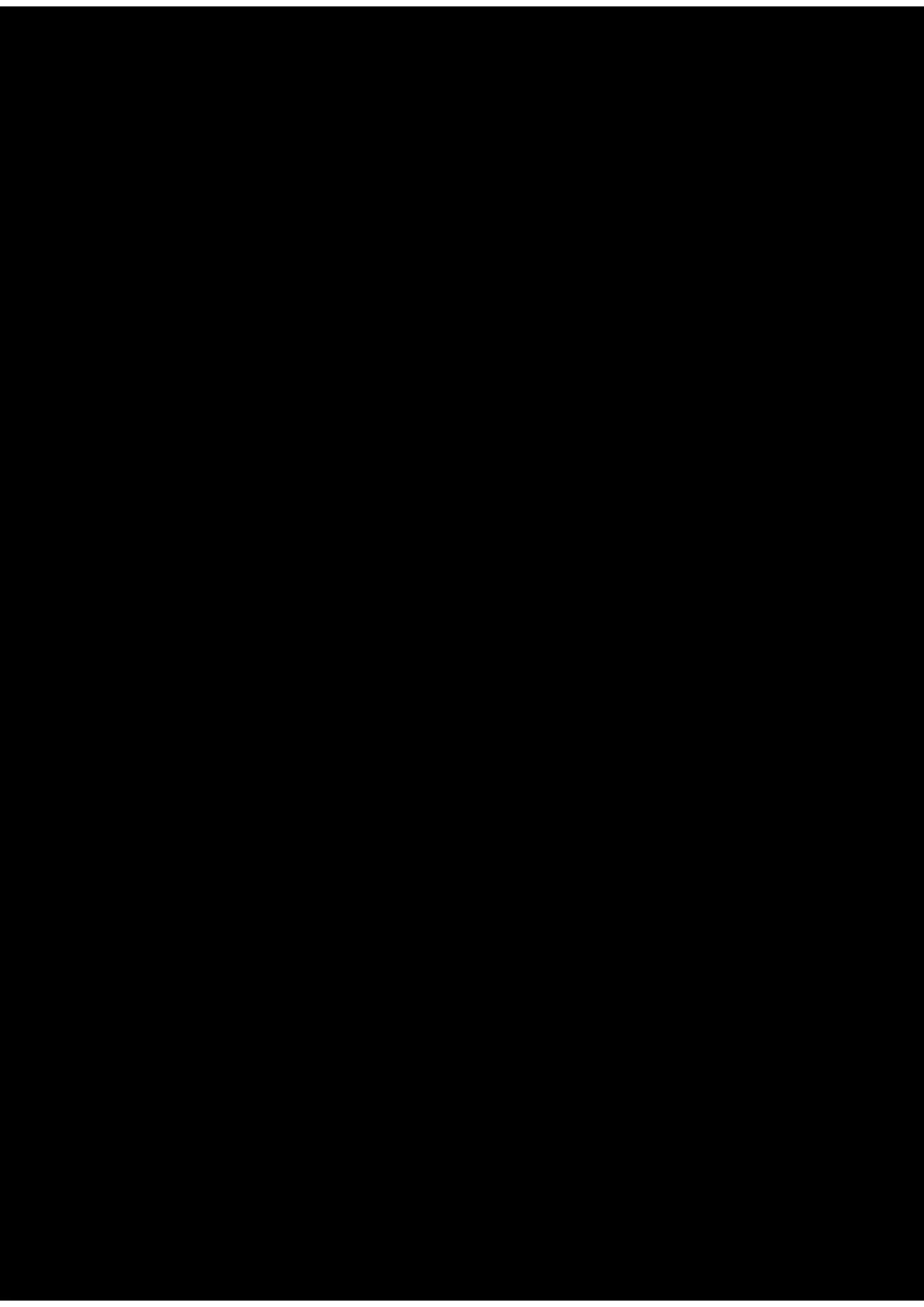
クッ

クッ

クッ

クッ







お読み頂きありがとうございます！  
アクオチスキー先生です！  
今回の漫画いかがだったでしょうか…？  
楽しんで頂けていたら幸いです。

ボーイズ漫画は春先のホワイトパンサーくんの漫画以来となりました。  
夏の終わりにアイシクルさんのまとめを出したのであんまり間が  
空いてない気もしますが、新作漫画としては半年ぶりぐらいになります。

春に出した漫画は春の陽気の影響でコメディっぽい感じとなりましたが、  
今回はうって変わって暗い漫画となりました…夏の終わりから秋は  
日照時間が少なくなるので気分が滅入ることが多いのですが、  
やはりそういったところも作風にも影響するのかなと思います。  
夏コミの原稿が終わったあたりに案を出し準備はしていたものの  
ほかの作業があったので結局秋に発表することになりました。  
夏っぽい話なので夏に出したかったんですがそれは叶いませんでしたネ；

今回は呪いの絵具が溶けたファイアスラッガーくんが結局また  
塗りこめられてしまう短い漫画、暗くて気持ち悪いやつという  
簡単なイメージとプロットを漫画に起こしていったのですが、  
当初は罪の意識とか後悔とかそういうのは抜きに夢のような整合性の無い  
話にしようと思っていました。  
イメージ膨らましの参考として久々に『パプリカ』を観たぐらいで。  
しかし描いていて「そーじゃないなー」と考え直し、当初考えていたよりも  
更にダークで重い内容となりました。

ファイアスラッガーくんを精神的に追い詰めたりやり込めたりしつつも  
「俺はもう絵具の中で一生おねんねしてるよ」なんて状態のヒーローを  
塗りつぶしても話的につまらんよナ…かといってこの状況で  
年端もいかないヒーロー君がひとりで気持ちに折り合いつけて  
「俺は塗りつぶされないぞ」なんて思えるはずがない。  
どうやって一瞬希望を持たせるか…さあどうすんべと。  
そんな感じで考えた結果がレスキューハーツさんの出番となりこんな感じの  
展開となりました。信じてくれる人がいるのって素敵な事ですよ…。  
まあさらなる地獄の展開の可能性もあるんですが(邪)  
レスキューハーツ兄貴はFANBOXで描いたラクガキとホワイトパンサーで  
ラストにちょろっと出ただけでデザインもカラーリングもまだふわっと  
しているのですが、描きたいネタもあるので今後は折をみて形にしたいと  
思っております。

更に今回はイビルファイアくんのお気持ちも少し明らかになりました。  
特にラストの展開は自分でもとても気に入っています。  
イビルファイアくんはファイアスラッガーくんを汚すために  
ファイアスラッガーカラーのボディペイントをして自分をいたぶっている…  
理屈じゃないけどめっちゃ本気(マジ!)みたいな…

いつかこのあとの展開も形にしてみたいものです…！  
呪いが溶けヒーローに戻ったファイアスラッガーくんとか  
すげえ過ぎる気がします(ドM開発されてるし)

そう描きたいものが多い…そんな理由もあり  
しばらくはPIXIVのFANBOXでちょっとした短い漫画を会員限定で公開して行こう  
かなと思っております(ネタはあるものの実弾は全然ないですが；)  
よろしければチェックして頂けると嬉しいです！

マイペースな活動となりますが、よろしければ今後もお付き合いください！

それでは感想やご意見・レビューなどお待ちしております^^  
お読みいただきありがとうございました！

2019年10月25日 アクオチスキー先生 拝



連絡先 [akuochisukii@yahoo.co.jp](mailto:akuochisukii@yahoo.co.jp)  
TwitterやPIXIVでも大丈夫です！